

今昔物語

その65

成川の渡し

成川地区



昭和初期撮影



現在

今回は、昭和初期に撮影された成川の渡しの写真をご紹介します。

渡しとは川を渡るための舟の発着場のことです。熊野川流域には、成川のほか鮎田、乙基、池田、浅里などの渡しがあるなど、水上交通が大変盛んでした。

明治時代の当初は成川区の請負で通行人から料金を徴収していましたが、明治40年から三重県営となり無料化されたそうです。

成川の渡しは熊野大橋の付近にあったそう、写真には中央に2艘の舟があり、それぞれ人や荷物を乗せており、時には馬も運ぶことがあったそうです。

また、写真の下部にはたくさん荷物を積んだ自動車が見え、当時は自動車が普及しはじめていることがわかります。

成川の渡しは熊野大橋の架橋により昭和10年に役目を終えました。

昔の風景写真を募集します

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限って、受け付けさせていただきます。このコーナーで紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

ひょうたん屋

写真の投稿をお待ちしています！

みなさんにお願ひがあります。

町制20周年を記念し来年度作成する町勢要覧には、みなさんが撮影した写真をできるだけたくさん掲載した紙面にできればと思っております。8ページのおり写真を募集しているのですが、今のところまだまだ集まっておりません（汗）

豪華賞品も用意していますので、町の気に入っている場所や地域のイベント、家族や仲間との写真など、みなさんのスマホやパソコン、アルバムに眠っているステキな写真をぜひご投稿ください。

締め切りまであと半月ほどですが、よろしくお願ひします。

（町勢要覧は来年1月に全戸配布します 愛野裕基）

ヘッドホン難聴かも？

本誌の保健師のコーナーにありました「ヘッドホン難聴」ですが、記事を作成している時、私もヘッドホン難聴なのかも？と思いましたが、そう思った要因の一つが、趣味のゲームです。

休みの日には、一日中没頭してしまっただけゲームが好きなのですが、ゲームをするときは、必ずイヤホンをつけています。音が重要なゲームをしているので、声をかけられても気づかないほど音量を大きくしてしまうことが多いです。また、寝る時もイヤホンをつけて、音楽を聴きながら寝ています。そのせいか最近、何度か話を聞き直すことがあったような…。

今のところ、ゲームをやめる選択肢はありませんが、これからは、耳の休憩時間をとって、耳をもっと少し労わろうと思います。

（視力も低下してきた 森雅貴）



広報担当 森雅貴



広報担当 愛野裕基